京城日日新聞

購讀料 一部金參錢 一ヶ月前金七十五錢

廣告料 五號活字一行金壹圓 六號活字一行金五十錢

編輯兼發行人 鳥羽 印刷人 松崎宗次郎 發行所 京城永樂町二丁目七三 京城日日新聞社

京城支局 東京支局 大阪支局

殖民地概説（完） 拓殖局編

第六章 殖民地の産業

第五節 商業貿易

第一 朝鮮 商業

三 銀行及會社 現時朝鮮に於ける銀行は朝鮮銀行の本店數十六、支店及出張所數は朝鮮内に百、内地及滿洲等に十四あり、内朝鮮銀行は資本金八千萬圓朝鮮に於ける中央銀行なり、朝鮮殖産銀行は大正七年六月從來の農工銀行を合併して新に設立せられたるものにして資本金三千萬圓本店を京城に置き支店及出張所四十六、地方産業の開發上樞要の機關たり普通銀行は内地人の設立に係るもの、朝鮮人の經營に係るもの及内鮮人合同經營に係るもの總計十四あり、會社は各種産業の勃興に伴ひ年を逐ふて其の設備を増加し大正七年末に於て同地に本店を有するもの二百六十六、其の資本金總額一億二千五百六十二萬二千七百圓、拂込資本金六千九百八十六萬圓、又同地に支店を有するもの其の數五十五其の資本金總額三億一千二百九十三萬六千五百圓なり

四 商業會議所 商業會議所令は大正四年七月發布し同年十月より實施したり、之に依つて從來不統一なる會議所を整理し内鮮人共同して一地區一商業會議所たらしめ以て商工業の發達を圖らしむ、而して現時本令に基き會議所を設立したるもの京城、仁川、群山、木浦、釜山、大邱、平壤、鎭南浦、元山の九箇所なり

五 度量衡 朝鮮在來の度量衡は從來一定の標準なく頗る亂雜の狀態なりしを以て明治四十二年九月現行度量衡法を制定し順次各道に施行し同四十五年六月全土に施行したり而して度量衡の整理統一を圖れり度量衡の名稱、命位は凡て内地と同一なり、

西伯利の管見（二）

服装

燕尾服 集會又は儀式等の場合に着用す

フロツクコート 燕尾服と同様集會儀式等の外は着用せず上流者の平常者として も着用す

背廣服 一般に通常服として着用せらる然れ共勞働者の如き下級階級の者は此種の衣服を纏はず

詰襟 主として勞働者又は商店の小僧の着衣として使用せらる露國に於ける番頭は日本に比し其地位高し故に背廣服或は「フロツクコート」を着すれ共詰襟を着することなし從つて露國に於て詰襟を着するものは餘程地位低きものと知るを得べし官吏及學生等詰襟を着すれ共一定の釦、襟章、帽子ありて其趣を異にす

ルバーシカ 襟付シヤツの一種なりコートの代用を爲す着用の場合は腹部を革帶を以て締む下等勞働者學生或は小兒の家庭服として着用せらる冬服としては此種のものを用ふるものなし夏季此種のもの流行するは衣服代の安價なるに基くものとす

シヤルワル 「ルバーシカ」に酷似せる襟付シヤツの一種なれ共尤も下端部を細にて緊束するの特徴あり主として農夫之を着用す大文豪「トルストイ」の寫眞を見よ「シヤルワル」の如何なるものなるかを了解すべし

半コート 詰襟服と外套とを折衷したるが如き上着なり一見外套に類似すれ共然らず勞働者の多服服として多く使用す

外套 寒秋に着用する外套にして内地に於けるものと其差異なし

シユーバ 防寒外套なり獸毛綿或は毛皮を以て其外套の厚さを増し寒風の通るを防ぐ寒氣凛烈なる西伯利或は歐露に於ては此「シユーバ」なくして絶對に外出する能はず故に露人は此の「シユーベ」には莫大なる金を投ず上流者の「シユーベ」は獺等の毛皮に依り成る數千金の價すと謂ふ（以上男子服）

カポート 上衣と下衣との連續する女用衣服の一種なり絹製又は最上の羅紗製は上流中流の衣服として用ひられ胸腹部の中間を緊束せるもの多し而して全體に裝飾多く主として外出用として着用す

ハラート 同じく上衣下衣連續する衣服にして「カポート」に酷似す然れ共裝飾少く腹部緊束なき點等に依りて自ら「カポート」と異る室内用として着用す夏季は地薄きものを以てす

ヘールトク 前掛の一種にして黑色白色の二種あり黑色「ヘールトク」は女學生之を着す白色「ヘールトク」は家庭内仕事の際之を用ふ

リーウチツク 男子洋服の短衣（チヨツキ）に似たるものにして襦袢の上より之を着す

コフータ 上衣の意なり「カポート」及「ハラート」に非ざる女用服は上衣下衣を別々に纏す「コーフタ」は其上衣の意にして「イユーブカ」は下衣の意なり品質の良き飾多きものは「カポート」と同様外出用にも用ひらる

女用ルバーシカ 女用ルバーシカは男用ルバーシカの如く夫れ自身獨立して着し得るものにあらず純然たる襦袢となり其形は肩前部を二つ合したる袴襟のものとす

夜會服としては是れと云ふ一定の衣服型なるものなし前記のヌルの最も好きものを用ふるのみ（以上は女子服）

國難を奈何（下） 大隈侯談

他の帝國に對する輕侮蔑視や顧して之を傍觀放任し其專恣の言動に委し去る可きものに非ざるや論なく然かも亦斯くの如き輕侮蔑視を招來せる素因に就て深く省思する所無かるべからざるや既に上述せる所なり、而して日米今日の關係たるや事極めて重大にして動もすれば帝國の前途に寒心を絶つ能はざるものあるに拘はらず國論

更に高調

し來らず宛として或は之を他國の事の如くに袖觀し若くは寧も此重大事態に就て解する所なきが如くなるは蓋し奇態の現象と謂ふべく動もすれば之を以て我國民の元氣既に銷沈し氣魄衰退して亦昔日の如くならざるかを疑はしむるもの無きに非ず と雖、然も吾輩の觀る所を以てすれば國民の元氣は爾く未だ銷耗沮喪せるに非ずして實は原内閣の秘密外交により

其視聽を

擁はれ、爲めに事の眞相を知り得ざるに坐するものに外ならず、國民にして其耳目を擁はれ事の眞相を解せず隨つて國家の難局に處すべき所以を知らずとせば其結果に於ては國力の運用國民元氣の銷耗は寧も選ぶ所無く眞に帝國の爲めに歎息せざる能はず即ち國民は日々倍々國家の危機に瀕せるを知らず彼の黑雲々裡に彷徨して危險の眼前に横はるを知らざると一般なり譬へて米國の排日に就て再言せんに其不法、理不盡、不德義、殺人的なることは贅說を要せず、蓋し其眞相にして一度世界に知悉されんには世界孰れの國と雖も、起つて其

非違を鳴

らし其横暴を咎めざる者無かるべく然れば我國の執るべき對策の對米策としては先づ世界的大宣傳を以て最先の急務とせざるべからずとして其宣傳たるや一時的姑息なる小規模を爲るさず徹底的大々的なるを要す [illegible] 最高の知識と權威とを有する法律學者、政治家、文章家、新聞記者を迎へて米國の不德不義に就て遺憾なく其眞相を發表し其迷妄、謬見、非違、横恣を擧げて之を世界に宣傳せん乎、世界の諸國は一齊に起つて米國の無道沒義を攻め

世界人類

の爲めに憤起し來らんこと寸毫の疑問を容れず斯くの如くならば如何に米國の暴慢を以てするも能く其非望を固執すること能はざるや必せり、然も原内閣としては到底斯かる英斷を執り得べき器に非らず遺憾に想到すれば國難に處するの途は先づ我國内に於ける政治の改革より始めざるべからず是れ國民の邁進を要する所也

政界茶話 白髪翁

◇政治期節に這入つてそろ／＼政界も賑かになる。處で政友會や憲政派の連中が後藤内閣を反對黨に渡すまいと云ふので暗中飛躍振りは大スサマジイ物ぢや

◇何でも、原、政友派の手合が山縣の老人の處へ行つて加藤と憲政會の惡口をつくのは叩いて居るやうぢやし

◇政友會は薩派と提携して、一時政權を預つて置かふといふのぢやが、薩派としても、此際何とか擔ぎ上げて來の策が必要ぢやからの―、それに權兵衛ドンも今一花咲かせたいといふのぢや

◇牧野と謂つた處でアノ通りの又ぬ、何と謂つてもアノ强情な山本の力でなくは薩派の再興は六ケ敷いと見て居る

◇第二次山本内閣といふのが、原敬の腹に出來て居る芝居の筋書とした處で以前の山本なら更に角シーメンス一件の記憶のまだ新しい今日、元老も國民も果してウンと謂ふか、權兵衛内閣などが再び出來るとなれば夫れこそ天下の風教も綱紀も何もあつたものではないよ。

◇併し山本でも擔ぎ出したら物にならふと考へるのぢやから暗中飛躍もやるのぢやよ。[illegible]

熱光の下を（三） 創作 曉谷

[illegible] たやうだつた。「お針をして、僕等でも [illegible]」自分一人では [illegible] 着物を、お前は澤山引き受けて [illegible]「お前さん、もう直ぐお正月だから」と言つて [illegible]

くまで知つてゐたことがあつて、一枚縫つて五十錢か六十錢を貰ふ [illegible] 等になつた等とよく勘定してゐたものだ。

一ヶ月餘り前東京から歸つて、新聞記者をしてゐる寺岡も、お正月の用意にと言つて賴んで行つたりした。

「馬鹿、寺岡さんのは襤褸は避けませんワ。」とお前は恐縮したものだ。寺岡は殆ど三日にあげず訪ねて來た。姉の戀人の弟で、私より三つか四つ年上だつた。極端なソシアリストであり乍ら、善良な性質を有つてゐて、人に嫌味を感じさせない男だつた。

「僕は新聞記者の型ぢやないと能く人から言はれるんだ。」と彼が言つてゐるやうに、狡猾い處は一寸もなかつた。十二里隔つた八代の大きな茶店の三男で、次兄は天才肌の文章家だつたが薄命な生れで早死にして了つた。私は以前から彼の顏を描いて見たいと思つてゐた。髮を後に撫でつけて、絶えず微笑してゐるやうな柔和な眼と、ロシヤ人にでもありさうな肉附いた鼻と、心持ち [illegible] 大股に歩く處は何處かに善良な [illegible] 懷手をして、ゆつくり [illegible] 魅力を有つてゐた。六尺に近い程な [illegible] 早口と共に、誰でも親しませる [illegible]

それで新聞社からは三十圓しか貰つてゐなかつたし、いつも窮々の [illegible] 其頃はよく友達 [illegible] 華かな色街に出入りしてゐたと見えて、何 [illegible]

「えゝえ。最初はね、奥さん、僕は近頃菓子を食べる金がないから御馳走して下さいと、仰言るでせう。だから妾、五十錢張り込んで買つて上げたワ。……そしてねその [illegible] 上げると言つたんですとサ」

「さうか。可笑いな。何うかして [illegible]」

「こんな事書いて、迷惑なことはありますまいか。」お前は心配さうに私を見て云つた。

内外電報

米國態度緊張

交渉更に險惡を加へ 揣摩臆測盛に行はる

[illegible] 如くにて遲々とし [illegible] 日米外交委員會の組織問題も上院との關係上米國政府の容るる所とならざる模様なるが本問題に關しては今や早く西部諸州のみに止まらず東部諸州に於ても言論界並政界の態度頗る緊張し來り益々其前途重大化したるの如く [illegible] 日本は加州問題を口實として米國に迫り西細亞に於ける特權を獲得せむとする魂膽を藏せりといふが如き [illegible] 暗影を投じ解決益困難に陷る懼れありといふ(東京來電)

人種問題に非ず 寧ろ經濟問題なり

加州大學總長の意見

[illegible] 加州大學總長ブレデンに寄書して日本人排斥は人種問題に非ずして經濟問題なり [illegible] 日本人勞働者を排斥す [illegible] 之が賠償をなさざ [illegible] 排斥せず却つて之を歡迎す(東京來電)

日英同盟更新問題

[illegible] 報より聞知する處に依れば [illegible] 論議に派遣し日英同盟更 [illegible] 方針を決定する筈なり而し [illegible] に通知し同問題に關する米 [illegible] は米國が次期政府の樹立す [illegible] れつゝあり因に右の會議に [illegible] 觀ぜられつゝあるが印度は(桑港來電)

廣東市に烽火擧る

[illegible] 廣東省議會の莫榮新を [illegible] る旨市民に宣布せり莫榮新 [illegible](桑港來電)

山東問題樂觀乎

支那我提議に從はん

[illegible] 聯盟總會に關し支那側は更に來 [illegible] 還附を主張すべしと傳へら [illegible] 山東問題を以て日本と爭 [illegible] 從ひ交渉に應じ以て山東を [illegible] ある由なれば假令支那 [illegible] 強に聯盟總會に提出す [illegible] かるべしと [illegible] 直接還附說を [illegible] 最近我政府當

對露强壓の目的

[illegible] の支那に於ける權利を回收せ [illegible] 收せむと既に其附屬地司法 [illegible] 銀行を手に入るゝことを傳聞 [illegible] 抗議すべく外交部に提議せり

コサック處分決す

[illegible] に關し日露間に協定成り日 [illegible] 隊を派し叛徒の武裝を解除す [illegible] 受くる場合には援助を與ふる

夕翁入獨拒絕

[illegible] の詩人ラビンドラナスタゴール [illegible] は旣にロンゾンに到着し獨 [illegible]

前露公使抗議

[illegible] 北京駐在の前露國公使は北京政府 [illegible] に抗議を提出せるが其の內容はア [illegible] タマンカルムイコフ氏が吉林長春 [illegible] 間に於て支那軍隊のため殺害され [illegible] し當時吉林より護送されつゝあり [illegible] し二名の露國人も亦支那兵のため [illegible] 殺害されたり右二名は何等の犯罪 [illegible] ある者にあらずと云ふにあり北京 [illegible] 政府は即時調査の上回答すべき旨 [illegible] 公使に言明せりと

饑饉救濟寄附

十萬圓に達す

支那饑饉救濟の寄附は總計十萬元に上り交通省は道會鐵道の敷設を命じ饑饉地の住民に其勞務を課すべしと謂へり(北京來電)

露領事逮捕

露國西亞領事はカルムイコフ事件に關聯せし嫌疑にて二日逮捕され直ちに北京に送られたり(吉林來電)

第二回米作豫想

奏上後四日發表

第二回米作收穫豫想は三十日各地の報告電報を取り纏めたるを以て農商務省は四日奏上の手續きを執り同時之を發表すべしと(東京來電)

志賀博士着任期

總督府醫院長志賀博士は來月中旬單身赴任すべし(東京來電)

渡邊領事齊齊哈爾行

在西伯利外國外交委員の一人及渡邊領事は三十日齊齊哈爾に向け出發す [illegible] 目的は露國人の組合事業に關する關係を直接當事者に就き調査するにあり渡邊領事は露人の生活狀態を熟知し居りて浦鹽政府に取りて甚だ人望ある人なり(浦鹽來電)

馬齡薯公定價格

獨逸食糧省は馬鈴薯の公定價格百斤に付き二十五馬克と定めたる旨三十日發表したり(伯林來電)

張作霖氏態度

張作霖氏最近の地位は必ずしも安全なるものに非ず雲南の唐繼堯氏等の勢漸次盛となり且飛行機に關する英國公使の抗議等は曹昆吳佩孚氏等の背後に英米人あり曹氏等は張氏の地位を覆へさんと圖り居るが如く觀測さるゝより張氏は曹氏一派に對し一層警戒をなしつゝあり今後或は再び出兵を見るに至るやも知れずとさへ傳ふる者あり又張氏が近來頻りに日本に頼らんとするも英米に失ひたるものを日本に得んとするに外ならず張氏は從來自己の地位危からんとする時にのみ日本に頼らんとせるものにして今回の親日的態度も決して信用すべきものにあらざるべく日本が若し曾て段其瑞氏を援けたるが如く張氏を援くることあらば再び形勢を逆轉せしむべく張氏自身も亦段氏と同樣の末路に到るべしとの評ありと

吉林排日運動

林鑛借款に反對

日本に對する林鑛借款を還次の善後大借款中より返還せしめんとする吉林排日派の運動は其の後益々火の手を揚げ代表者を北京に派遣して政府に迫る手筈に成居りしは旣に報ぜる所の如くなるが廿六日省議會農工商務各會教育會聯合各縣自治聯合會の七團體より各二名宛合計十四名の委員となりて北京に向ひたりと

北樺太獨立計劃

尼港來報によればサガレン州民大會は全然共產黨は反對なる獨立政府を樹立するに決定したりと

滿鐵返還は不合理

久保局長東上と滿鐵の意嚮

去月中旬東京より歸任せる久保滿鐵京城管理局長は再び一日朝急遽東上せるは朝鮮滿鐵委任經營の解除問題に關し野村滿鐵社長に其後の經過を報告し尙ほ該問題に對し中央政府とも何等かの交渉あるべきことは敢て臆測にあらざるべく即ち久保氏が鮮に歸任以來今迄總督府の意嚮を探り居たることは事實なり總督府に於ても直營の意嚮あるは公に發表せざるのみにて當局の口より常に之を主張し居る所にして決して之を否認することを得ざるべく戰に兩者間に於ける鐵道問題は進行して遂に具體化せるものなるが兩者の見解は接近と云はんより寧ろ遠隔すること多く今後の解決が果して圓滿に行はるべきや否や氏は頗る疑問視せられつゝあり乃ち總督府と滿鐵會社 [illegible]

東拓蒙古活躍

拓殖資金の大提供

滿鮮各地に於ては朝鮮銀行、滿鐵會社、東洋拓殖會社の三巴となりての開發事業に對する活躍を見居れるが東部內蒙古に於ける資金の [illegible]

日米間の根本問題及其解決(一)

小寺謙吉氏談

米國の議員團が比律賓、支那の視察を經へて日本に來るや、日本の貴衆兩院の議員團は、勿論朝野の歡迎は懇篤親切を極めて、而して兩者間に外交上の辭令が婉曲に交換された。就中上院議員ロリス氏は「日米兩國は互に親善を保ち、世界文明の爲めに大いに努力するの必要あり」と述べた。之れを見ると、極東の天下は先づ太平無事なりと認めて、あらゆる世界の人類と共に此現象を祝福し、日米兩國の關係を依然親善なりとして慶せなければならぬのである。

然るに一度

眼を轉じて太平洋の濤岸を望めば、排日運動の根據地たる米國加州に於ては最大親密と謂はなければならぬ [illegible]

米國憲法の

精神に反する北米合衆國の最高法律たる日本通商條約の精神に戾る [illegible] 人種上の差別的待遇に基ける排日法案は、未だ正義公正を標榜せる [illegible] 加州民の一般投票に依り決定せんとしつゝある狀態である。此如き暴案を、來る十一月二日を期し、加州に於て市民權を得たる兒童の名義に依り獲得したる土地に關しても、歸化權なき其父兄は該土地に關しては後見たることを得ざるものなりと規定せる新排日法 [illegible]

上述の如き

[illegible] 今は此現象を見て、米國の名譽の爲め、世界平和の維持上、深く悲しまなければならないのである。今や日米兩國の人種問題に、支那問題に、太平洋問題に、其他有らゆる問題に於て利害の不親善なる關係を招致し、非常に何とも手の着け樣なき障礙を最早根本的に改善して日米兩國が世界の平和維持に貢獻するの道を講ずることは現下の最大急務であると思ふ

之に反して

米國の國民は、民主々義を以て理想とし、其の輿論政治を以て人類最大の幸福なりといふて居るのである。斯くの如く兩國民の政治上の主義信條、訓練の相違が一は軍國主義の外交となり、他は資本主義の外交となりて相互衝突して以て、今日の日米關係の不和を生起したる原因の一を爲して居るのである。而して之よりも猶更に重大なる原因は、人種上の相違より來る反感情の惡その物であつて、之を助長するに社會的、經濟的原因の伏在せるものありて以て、今日の紛糾錯雜せる所の日米兩國の關係を結果したものである。

[illegible] 日本人の米國人に對する理解の若干不撤底なるものあるも、本其一は、勿論其一理由であるけれども、日本人に對する理解の不充分なる [illegible] 原因であつた。米國人の [illegible] 日本國民は軍國主義の [illegible]

金融緩慢と我財界

樂觀の域に達せず

今夏以來の金融の軟化は資金の増加より來れるに非ずして物價の暴落、取引の激減に基く需要の減退より來れるものなるを以て消極的の緩慢なりと稱せられ然も今春に於ける財界大動搖の痛瘍未だ癒えず各會社各商店の信用の程度不明なると信用取引激減し新規の手形減少したるが爲銀行は貸付金の處分付かざるとに依り銀行は金を [illegible]

金融の緩慢

と自ら其程度を異にするに對し吾對外金融の趨勢を觀るに昨年末より本年初め [illegible] 慢の影響を資金の上に加より來るが此の消極的緩慢又は變態的緩慢なりと稱せられ [illegible]

爲替銀行の

手元著しく [illegible] したるが爲め [illegible] 網羅となりたるのみならず印度、瓜哇等に配布せられたる資金 [illegible]

貿易の出超

貿易外の受取

[illegible] 增加とは大いに其の趣を異にし [illegible] 超過に基くものに非ずして [illegible] に於ける財界の大動搖に依り綿花、砂糖、機械等の將來に亘る輸入契約が取消され又は變更されたる結果爲替銀行が是等の輸入に對する資金に充てんが爲め昨年末より本 [illegible]

浦鹽滯貨拂下

財政紊亂救濟策

[illegible] 浦鹽政府に於ては、紊亂せる財政を整理せんとするも財源に乏しき [illegible] を以て、政府當局は非常に苦心を [illegible] 策として、滯貨の拂下の [illegible]

肥料相場鈍重

豆粕自先に擬か

豆粕は需用期節に入れるに拘らず四圓の狀勢依然面白からざると米安との爲め商況依然不振を極め一時五圓十錢見當迄も進みたるインボイス取引も最近には四圓七十錢 [illegible] 十八日には十月入四圓八十二錢にて又二十九日には四圓八十七錢にて手合出來し店賣は依然二圓六十錢見當ながら現在出帆中のものはインボイス五圓十錢賣人氣と [illegible]

群山慈惠醫院

敷地何れか好適乎

群山慈惠醫院敷地は來る四日の相談會に於て之を協議する由なるがさて之が候補として何れが好適なりやと云ふに記者の見る處にては公園下を第一とし第二は裁判所と六條通の間なる水田方面第三は驛附近の不二興業所有地第四は裁判所の南隣なる高燥地にて若し第五を擧ぐるとせば監獄附近の學校組合所有地なるが此方面は監獄寺院等に近く面白くないと思ふ(群山)

大陸日々新聞休刊

奉天日刊新聞大陸日々新聞社は九月三十日より五十日間休刊は社內整理の爲なりと

人事

▲大谷光瑞師 豫定を變更し四日午後六時五十分入京

二面エキス

■佛國● 大統領ミルラン氏大統領の權限に新機軸を開き內閣の勢力を壓倒すと

■露國● 對波蘭軍に對しトロツキー電報命令を發し戰備を整ふ而して最後決戰はんと意氣込む

愛蘭ベ市鎭靜

[illegible] ベルファスト市は鎭靜に歸しつゝあり [illegible](倫敦來電)

米國生産

[illegible]

放火！掠奪！慘殺！
血と火に染られた琿春
馬賊の大集團全市街を蹂躙し
我居留地全滅、死傷者は無數
第二の尼港事件現出
江岸守備隊急遽出動す

十月三日午前十一時 軍司令部發表

十月二日午前四時三四百名の馬賊は琿春に襲來し我領事館及居留地に放火し領事館は全燒し居留地は掠奪を恣にせられ內地人死者十名負傷者二十餘名を出せり馬賊中には多數の不逞鮮人混入しありて主として日本人に危害を加へたるものの如く又本賊團は露國人之を指揮せりとも謂ふ殊に馬賊從來の行爲に反し婦女子に至る迄慘殺し又男子は多く銃殺の後尙刺突せられ慘虐を極めたる形跡に徵するに該賊は單純なる馬賊にあらずして過激派的色彩を帶ぶるものと認めらる

馬賊團は午前八時頃琿春北方山地に引揚げたるも再擧の模様ありて人心恟々たり

以上の報告に依り軍隊は救援の爲め琿春に出兵の必要を認め江岸守備隊の一部をして卽時慶源出發琿春に急派せしめたり

賊團中に不逞鮮人混入す
指揮官は露人との說

別報の如く琿春領事館を襲ひ馬賊は過日襲來せるものと全然その性質を異にし特に日本人を仇敵視せる不逞鮮人露人等の一團にして琿春の北方に一時の根據地を定め隊を爲し居たるものゝ如く折柄同方面の警備線となりたるを好機とし襲擊したるものにして當時領事館には日支人の避難民多數を收容しありて守備兵としては僅々二十餘名なりしとも云ふ襲擊當夜の混狀想像すべく秋洲副領事（目下領事不在）は多分無事なるべく御眞影は無事避難春安せる由なり尙風說に依れば同方面には不逞鮮人百餘人の一大決死團の潛在するもの在り今後の形勢甚だ不穩なりと云ふ

御眞影は無事か
猛火内に踏止まりし副領事
同胞の運命果して奈何？

馬賊團の琿春西門街を襲擊するや先づ我領事館に全力を集中して爆彈を投じ小銃を猛射して在住內地人をして避難の餘地なからしめたり馬賊の兵數は不明なるも數分支那軍人の混入せるものあるを認め其の殊に日本人を襲擊の目的とせる處より察すれば不逞鮮人も之に加はり居れるもの如し午前七時迄れて襲擊に來れるもの■報に依れば我領事館は半燒の姿となり市街全部猛火に蔽はれつゝあり副領事は御眞影と運命を共にせんとて猛火に包まれたる領事館內に止まりたり（浦潮來電）

傍杖食って負傷した人
滿鐵辭任の噂ある川上理事は嘗て莫斯科總領事を勤め
對露對支の功勞者

藤公哈爾賓の遭難に

滿鐵理事川上俊彥氏は■■今回滿鐵を辭す可く旣に辭表を提出して政府の認可を待つのみの運びとなれるが是れ滿鐵の爲にも惜む可き人材と謂ふ可きである氏は有名なる

露西亞通

として多年外務省の爲めに育つた人である■いては政府の■■政策の上に於て■哈爾賓モスコー等の總領事とし

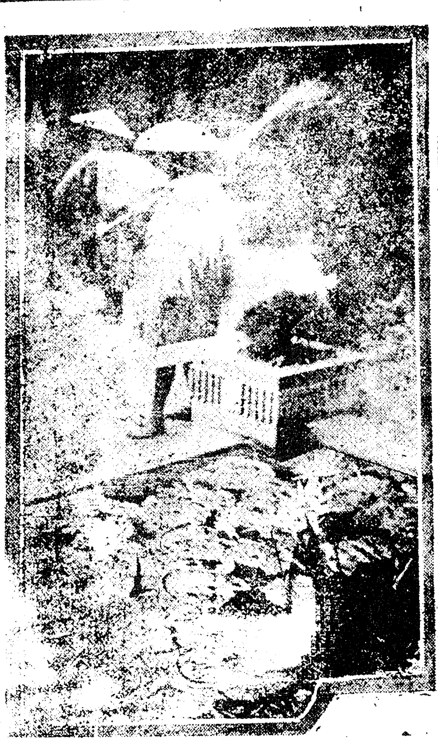
乃木大將の幕下に

て日露外交は勘からぬ貢獻を致した中にも哈爾賓時代にはペスト猖獗の爲め慘狀を極めたるが當時の防疫方法に於て日支の協力を缺き其間意思の疏隔して居る事を遺憾とし當時の東三省總督徐世昌に會見し一朝にして釋然たる諒解を得て日支聯合防疫委員會を設置したる等勘からぬ功績と謂ふ可きである氏は日露戰役中

名なる乃木大將とステッセル將軍との城下の誓ひは實に氏の通譯に依つてせられたるものである其後氏が更に有名になつたのは伊藤公が哈爾賓に於て兇漢安重根に狙擊された時に傍杖を喰つて右腕に負傷した事である其後大正二年十二月任命されて滿鐵理事となり滿鐵經營上に於ける對支關係對露關係の交涉には殆と

一身を賭

して其任に當つたものである中にも四鄭線の■が■■■し



そぼふる雨

龍山鐵道病院に突如旋風捲き起る
五醫長結束增給を迫り拒絕されて連袂辭職す
之れ一種の社會問題

龍山鐵道病院は元來滿鐵の補助を受け院長佐々木氏外三人の組織の下に經營し來れるものなるが去る八月上旬金丸內科醫長を筆頭として婦人科の佐々木眼科醫長、耳鼻咽喉科醫長及藥劑局長今仁氏等五

連名を

以て文書を佐々木病院長に提出し月給增額並に舍宅費の支給退職金の增加を迫りたるが先般一部の增給を承諾されて一先づ之が解決を見たる次第なるが是を他の滿鐵病院總督府醫院等に比較する時は優遇と云ふべきも

增額を

迫ること前後三回に及びたる事が之に關しては佐々木院長は久保監理局長大內經理課長等と熟議を重ね圓滿なる解決を計りたるも醫長以下五名の態度は飽くまで頑強にして若し要求を容れられざる場合は連名辭職すべしとの意見なるに病院側に於ても最早妥協の道なく殊に徒らに結束してストライキ的行動に出でたる

人格に

反感を增し今回の聯合要求の條件を拒絕したれば遂に問題は破裂して五氏の連袂辭職となり該病院は秩序の統一を攪亂され差し當り入院患者に對しても支障を來すの止むなきに到りたれば取敢ず婦人科を閉鎖し眼科耳鼻咽喉科を合併し更に內科小兒科を

應急の

處置を執るの餘も併合し院長副院長によりて■■なき狀態となり院內は混亂を來し各幹部は善後策に就き鳩首協議中なるが一方連袂辭職者の醫長以下五氏に於ても同樣熟議中にて院內は時ならぬ騷擾を極め不穩の空氣に鎖され居れりと

後貝加爾に惡疫流行の兆

後貝加爾地方に惡疫續々として發

行幸なし
大演習に統裁官は上原參謀總長

來月八日大分縣地方に於て陸軍秋季特別大演習擧行に際し大元帥陛下行幸あらせられざるを以て特に上原參謀總長をして統裁せしめらるべき旨御沙汰ありたり（東京來電）

パルチザンの分捕品
四十餘點陸軍省に到着

尼港その他に於けるパルチザンの分捕品四十餘點は廿九日、浦鹽派遣軍司令部の手を經由して陸軍省に到着した、新聞班の岡村少佐やるさうだ

てゐる、パルチザンの認識から分捕つた二百留の過激派紙幣には日本軍の打つた彈丸の跡が七箇所もある其他パルチザンの食料に充てられた鐵餅大の黑パン、日本の小指位あるパイプ、田尻市長の着ひさうな木の靴、日本の羅紗の如き戰爭服など何れとして、戰慄を催さぬはなく、殊にパルチザンの用ひた兵站用の橇の如きは人目を欲てしむるものがある、是等の分捕品は恐く尼港展覽會に貸下げるさうだ

恬淡寡慾

て無類の取■■■■■■■■■である小事を意に介せず人を良く信じ自分が全責任を背負つて人に一切の仕事を爲せ得る寬仁大度な人で確に人に將たりる頭領の器である此の人材を滿鐵より逸する事は確に一大損失たるを失はない

紅燈私娼 ロ ー マ ン ス

シベリヤに泣く女 (一)
賣られて行きます シベリヤ迄も 肉も心も親のため

埋れた西伯利の夜に、寂しい街に、若い女の血の様に燃く紅色の行燈に醉醒めた女の醜と生慾の疲勞に喘ぐ事業の神であるのだ朝に晩に、南に北に進展して行く皇國の第一線に立つて

媚と肉とを千切

賣る哀れな女達は一體奈何に其日〳〵を送つて居るであらうか。長い樣で短い、而も一生に再び返らぬ若い女の誇りを樣に慘めな節であつた

金と云ふ字の犧牲に蹂躙つて夢の樣な半生を終る女達の末路は一體奈何ものか。

親の爲めとは云ひながら、海山越えて、何千里、果しない身を此のシベリヤへ、言葉も解らぬ名も知らぬ、知らぬ御方に身を委し泣きの淚で日を送る……

貧窮の疲勞に濕房の窓を開いて果しない故鄕の空を眺めながら女達の口づさむ其の唄は、野犬の泣く

窓には嚴を交

へた淒しい吹雪が硝子の樣に冷えきつた暗い街を物淒く吹き荒くつて行く

「それはね、故鄕の事を思ひ出さない事もありませんけれ共、今更思ひ出したつて、奈何するものでもなし、もう此の頃では一切ものを考へない事に定めつちやつてゐるの」

色褪せた長襦袢に細帶一本の艶らかましい姿の女は徒う言つて淋しさうな顏をした。

「思ひ出したつて仕方がない」何と云ふ悲痛な語であらう、纖弱い女の身を以て世にも恐ろしい貿鬼の甘言に釣り込まれて一步故鄕を踏み出した、其日からそうした悲慘な運命の兩手を擴げて待つて居やうとは、露知らず此の世に

肉も心を腐り果て

た棄鉢な少女となつて、拔き指しならぬ冷酷な淵に陷ち込んで終まつた後なのである殆ど色情狂に近い■支人の滿足を買ひ、鬼の樣な樓主の笑ひ顏を求める爲め女達は、時計の刻みよりも忙しい瞬間の勞働に疲れなければならぬのだ

人間として、まして纖弱い女の身を以て耐へ堪え得る事であらうか、否な得る得ざるは問題でなかつた、女達は息の續く限り、賑かな通ふ限り、餓狼餓虎に等しい夫等の客を相手に顏に笑み、腕に痿き、體に交て……職はねばならぬのだ

增額を

星製藥の美擧
獨逸に獎學資金を寄贈

藥界の成功者星製藥會社社長星一氏は三十日獨逸大使館にドルア大使を訪問し獎學資金として三萬馬克（邦貨一萬五千圓位）を獨逸政府に寄贈すべき旨を申し出でたり同大使は之を快諾し其旨本國に通電したりと（東京來電）

關釜連絡船 檢疫廢止さる
三日から

釜山に於ける關釜連絡船乘客に對する檢疫は虎疫も旣に下火となれるより三日限り廢止に決定したり（釜山來電）

鮮內各地を荒す
イカサマ會社
用心が第一

本年春頃より福岡市外春吉四八七番地三共合資會社販賣員と稱する者仁川に來り農作業用器具を各所に持廻はして現品を賣却する傍ら巧言を以て其販賣特約店の契約を爲し怪しげなる取引契約證を交附して信用を求めつゝあり該會社は代表者國武虎平次名義の資本金一二千圓のイカサマ會社にて販賣の藥も功能書ほどの効力なく藥九層倍以上の暴利を貪り居りし法網を潛りて內鮮を荒らし廻はり仁川にても美濃谷農園を始め高木助市氏令弟某、眞崎運吉氏其外一兩名の人々も各數百圓宛の現品を買込み被害を蒙むり居れるが右に就き福岡警察署に向け內鮮各地に出づる者多き爲め同地にても再び取調の結果、一度は檢擧告訴せんとせしも前記の如く巧に法網を免れ得るだけの逃路を拵へ居る爲め如何共せん術なければ此際斯かる會社販賣員の巧言に陷らざる樣各人が警戒注意する外なしとて其旨仁川署に向紹介し來れり（仁川）

仁川山手町 深夜の出火
原因は風呂場の焚き跡から

二日午後十時四十分頃仁川山手町二丁目兒玉宇三郎方裏手より發火し火は凄じき勢を以て同家二階に燃え付、や見る間に二軒長家の家根裏全部に延燒しつゝも大火となるかと危ぶまれしか急報に依り仁川消防隊逸早く驅付け必死に消防に力めたる爲め漸く午前零時過ぎ前記三軒を全燒して鎭火したるが一時は非常の人出にて混雜を極めたり原因及損害額等に就ては目下取調中なるも該夜同家主人は不在にて妻子は旣に就寢し居る由なるが發火場所は風呂場の附近とのことなれば多分風呂を焚きたる跡始末不十分なりし爲なるべしと（仁川電話）

郵便物遲着は宛名の書方にある
判然と認める事

京城の通信機關の不備と郵便物の遲着は通信頻繁となるにつれて常に非難の的となつて居る所であるが郵便物の遲着は機關も惡いが差出人も惡い宛名は判然と書き私書

近視眼の兵隊さん
規則改正で此冬から
八度までは近眼が入營
眼鏡は官給—軍務に差支ない

來年度の近視眼が益多くなり毎年の徵兵檢査には、立派な體格の者が僅に眼のために不合格となるが檢査に傾向が

增加し

て來た之がため陸軍でも徵兵檢査の規則の一部を改めて近視でも採ることになり去る八月し本年度檢查から實施したのでつて來る十二月十日入營の新兵中には多數の近眼がある譯で、之等に對しては一々その度に適合して眼鏡を官給することになつた

ト位は近視眼である、從來の規則で眼が近いのみで良い體格の者

不合格

となつて國家のため又本人のためにも甚だ殘念であつたが今後は八度までの近眼者は合格とし、之に眼鏡を官給することにした、眼鏡を掛けるために軍務に支障を來すやうな事は一向に無い、現在將校で眼鏡を使用して居る者は多いがあれば將校生徒と成つた後にに近眼になつた者で、此の八度の近眼を

採用す

るといふ規則を將校生徒召募に適用するやは未定であ

私物も

許可するさうで右に就き陸軍當局者は語る「改正規則に依ると八度位までは合格の部である、勿論遠視眼鏡は採らない今日の中學生はその三十プロセン

自轉車の盜難
發見困難な塗替又は解體して運搬

近來京城仁川等に於て自轉車の盜難頗る多く中には屆け出さる者もあれど屆出し分も可成多數に上り居り所轄署にても充分に搜査手配し居れど何分共自轉車は車體を塗替え又は解體し一見發見を識別し能はざる樣に取代へ易き物なれば其搜査も中々に手數を要するのみならず解體の上他へ輸送するに於ては全然手の着け樣なき次第なれば使用者は例令一分間たりとも盜まれ易き場所に拾置て家內に立入り所要を辨ぜざるやう注意するが宜しく萬一被害の際には必ず其筋へ屆出る樣にせられたしとは某刑事の注意なり

朝新讀者慰安會

朝鮮新聞仁川支社にては一日夜活動

筑前琵琶を聽く

二日午後六時から■■に催された京城旭會主催の筑前琵琶大會は

フイルム

黃金館 勞働者ガラヲ 前編 原名 ザ、ティヤス、オヴ、ウワーキングクラス

時の潮は無慨に、而も幾多の爭鬪を生みつゝ流れて竭まぬ。時と處との美しい都羅馬の市にも、勞烈な酒に醉つて豪奢の限りを盡す貴族の本家と、冬の幾夜を饑と寒さとに泣き明かさねばならぬ勞働階級との烈しい爭鬪の日が來つた。マルベルティ氏の經營に係る一大製鐵會社の職工長と、勞働組合の幹部、聰明な理性と偉大な實力との所有者である青年ガラヲは、數日かの間を勞働者の擁護と正當な權利の主張とに費してゐるうち、圖らずも社長の娘ミンニイの危難を救つて相識の間柄となる。

一方、この頼母しいガラヲを兄に持つた美しい少女のルイザは、何の因果か社長には一粒種の放蕩息子ルシアノと戀に陷つたが、男にとつては固より一時の氣慰みに過ぎなかつたのでルイザの戀は忽ちにして破れ、不義の罪の兒のマリアに兄にも知らさず田舍の百姓家に托さねばならなかつた、罪の種はまた何者とも知れぬ男のために奪はれて了つた。

勞資の紛議は益甚だしくなつて來た。流石冷靜なガラヲも社長との最後の會見に痛く激昂して歸宅すると、父のパスチアノも■に暗い影を漂はせて歸つてきた。父は子を、子は父を互に案て乍ら一夜を明すうち、突然刑事がきてアルベイティ氏殺しの嫌疑でガラヲを引かうとすれば、倩はと思つたが顏色にも出さず、バスチアノは自ら犯人であると申し出でガラヲの身代りに引かれて行く。「父なして殺人罪を犯さしめる迄に激昂せ

……ルシアノとの秘密は自分である」と告白したのも、原因は…

市民の聲
▣無用の長物

東亞經濟會主催森本博士の講演會へ傍聴に行つた際…我々無用の長物……公會堂に……

三面拔萃帖

●破血鬪の一隊能高方面に蜂起し巡査及家族七名を馘首し婦の腹を割き子を引き出して引揚げた
●西伯利に殘留せるチエツク軍人四十九名は露國婦人を妻として
●西伯利府から三萬圓を補助された平北道の田龍昇と云ふ巡査が不逞鮮人團に誘拐されて手先になつてゐたが近頃馬鹿を見て歸つた
●盆踊りの夜に物婦の多情を恨んで情敵を殴り殺したのが福島安達の若者でこれはヨクある奴ちやり
●若い女を六ケ月も船中に監禁して自分を弄んでゐた船頭があるる身は水島の淡枕とはこの事だら
●關勢調査は大變な騷がさを見せてゐるがこれが濟んだら■政調査でもやつたら好いだらうと評判
●東京方面は大洪水で東海道線は相變らず不通だと云ふ江戶名物の火事を水で埋合はせるのかしら
●阪神電車が大衝突をして死者三名重傷者三十名を出したこれは運夫守（運轉手）が惡いに違ひない
●陶器■の新■■が■過に出來て文明は再び石器時代に戾らうとしてゐる今に人間も■が欲くなる
●九州南部に起つた颱風が今に肥州半島に上陸するだらうと警察（肥州）交々だと性■い■薄ちやから
●十二月から改正になる警官の■は金■でなくて短くなるのだと■盜りさんも■の■りが取れさうだ

小説 判官 照手姫 「八十八」 旭亭 櫻山 口演

怪しい家に怪しい人物

八郎は笑つて 八「お前は馴れてゐるから早いが、私は荷物を背負つて中々そうは歩けない」○「私は荷の重いのは平氣でございますが、荷物が輕ければ足元が輕くなります、旦那樣御荷物をお出しなさい、私が持つて參ります」と八郎の荷物を取つて自分の背中へ背負つて先へトットと行く、如何に馴れてゐるとは云ひながら足元の輕いこと、八郎は感心すると一丁や二丁位すぐに後れて終ふ、それでも負けぬ氣性の男丈に、やつと後から續いて行くと、其中に段々日が西へ傾いて參りました、次第に日の暮方になりますると、ふの山の間の所に煙が一筋スーツと立つて居る、[illegible]

ますと、年頃五十前後の円つきの鋭い一癖ある人物が、先刻の男を連れ二人連れ、入つて參り、「是れはノ\、能うこそ御出でになりました、私は神力村の小左衛門といふ宿家の主人、是れなる私の番頭御案内申します、途中で[illegible]になりました」[illegible]



でもするのでございませう、扨は人家のある所に近づいたなと思つて參りますと、頓て着いたのは思ひの外大きな家で、バラ／＼と出て來た若者一兩名△「ヤア番頭さん歸つて來たか、其れへ來た奴は何だ」○「アヽコレ神力村へ泊りなさる旅人を御案内申したのだ、お客樣は山の中に住んでる人間で、口の利きやうなぞ存外でいかねえが、何でも客の御方に違へねえから、丁寧にしなけりやアいかねえ」△「アヽ然うか、其れはマア知らねえ事とて飛んだ事をした……、ヤア番頭さんが、客の人を一人連れて來た、皆此へ來て草鞋の紐でも解いて足を洗つて上げろよ」と叱鳴ると、奧から更にバラ／＼と出て來た七八人、谷川の水を盥へ汲んで△「サア旅人足を洗ひなさい」と親切に親切の取扱ひ、八郎嬉しく上つて案内をされる儘奧へ通りますと、天井も張つてなければ疊などもありません、蓆を何枚も／＼重ねて一寸見に奇麗な蓆がズツと敷いてある八郎其處へ通つて[illegible]

[illegible]は御客お見合せの方が宜しいかと存じます」八「イヤ御主人、手前は態々を歩き深山幽谷へ分け入るを樂しみに致し居る者、是非とも明日は天狗山へ登つて見たいと思ふ」小「仙人とか天狗とか、一體何ういふもので」八「日本では天狗、唐土では仙人だ」小「ハア、私は天狗山の近所に居りながら、まだ其の姿を見た事がございませんが……」八「左樣、白い衣類を着て大概丈は八尺位、顔が赤くて鼻が高い」小「其れは貴客能樂のお假面なぞに見る天狗ちやアございませんか」八「ハア然んな物かと思ふ」小「シテ見ると貴客も見た事がないのでございませう」八「其れは無い」小「併し旦那樣、貴客は天狗山へ登る位では武藝は餘程御出來になりませうな」八「出來ると誇る程でもないが、百人二百人位はこゝにある棒一本で打拂つて御覽に入れる」小「ヘエー、私共[illegible]

演藝案内

黄金館 國活會社特約 黄金町 電話二二六三・二六七六
[illegible]十月二日より名畫上場
泰西活劇 **復活**
伊太利アムブロージオ會社特作 泰西社會劇 **勞働者ガラオ** 前後四篇八卷の内
新派現代劇 **岩にせかれて** 全七卷
新派劇 **名金** 全二十二篇四十四卷の内

大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三
來る十月一日より秋季特別大興行
實寫「歐米人娯樂」 喜劇「ドン君除病」
尾上松之助の大活躍 舊劇 **龍神灘右エ門** 全五卷
米國ラスキー會社傑作 正劇 **「皮の鞭」** 全五卷 名優マリー・ドロ嬢 エリオット・デクスター氏主役の泰西哀話
新派悲劇 **「生さぬ仲」** 前後篇全七卷 故柳川春葉先生大作
毎月一日・十五日・日曜日・祭日晝夜開館

喜樂館 日活直營 本町一丁目 電話五九七番
來る十月一日より新三大映畫提供
○實寫 奇なる梅
○滑稽 新馬鹿の銀行員
○新派悲劇 **松の操** 全五卷
○米國ウイリアム・ハート・プロダクション作 人情劇 **アラスカの地獄丈** 全五卷

